



令和4年(2022年)2月22日(火)

公益財団法人 広島平和文化センター

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 副館長：大瀬戸

電話：543-6271

担当：橋本

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 令和4年企画展

「震えるまなざしー撮影者たちが残したことばー」の開催と 撮影者の遺影登録のお知らせ

下記のとおり、令和4年企画展「震えるまなざしー撮影者たちが残したことばー」を開催します。また、今回の企画展の開催にあわせて、新たに6名の撮影者たちの遺影を登録・公開しました（別紙参照）。

記

1 会期および開催場所

期間 令和4年(2022年)3月1日(火)～令和4年(2022年)12月29日(木)

場所 追悼平和祈念館 地下1階 情報展示コーナー

※3月6日(日)まで臨時休館期間を延長しています。3月7日(月)以降については、今後の状況を踏まえて改めて発表します。

2 企画展の内容

1945年8月6日、広島に原爆が落とされた時、湧き上がるキノコ雲をカメラに収めた人たちがいました。それが世界で最初に使用された原子爆弾によって起こされたことを知る由もない中、撮影者は眼の前で起きているとてつもない光景に向かって、「カメラを持っていれば、真実としてそういうものを撮りたい」（深田敏夫、当時16歳）と、本能的にシャッターを切ったのです。

軍所属のカメラマン、写真館の店主、新聞社に勤務する中学生等、全く異なる職業や立場の撮影者たちが、目をそらしたくなる気持ちを押し殺しながら、ファインダーに映る被爆後の悲惨な状況をいかにしてフィルムに収めたのか。そしてその体験を、彼らの鋭い描写力でどのようにことばに表したかを明らかにします。

<展示内容>

大型スクリーンに映し出す約30分の映像作品と、撮影者が所有していたカメラ等数点を展示します。また、タッチスクリーンで、撮影者たちの被爆体験記約30編を紹介します。

3 内覧会のご案内

企画展に協力いただいた方々を招いて、内覧会を開催します。

日時 令和4年(2022年)3月1日(日)14時から

場所 追悼平和祈念館 地下1階 情報展示コーナー

参加ご希望の方は、電話(082-543-6271)かメール(info@hiro-tsuitokinenkan.go.jp)でご連絡ください（担当：橋本）。